

ワーキンググループ(第4回)

をおこな
を行いました!

◆ 開催概要

にちじ れいわ ねん がつ にち かようび じ ふん じ
日時：令和6年4月23日(火曜日) 13時30分から 16時

ばしょ けんりつさがみはらこうえん けんしゅうしつ
場所：県立相模原公園 研修室

- ないよう
内容：
- ・基本配置案について
 - ・施設配置案(遊具・休憩施設など)について
 - ・森の木展望台の後継遊具について

さんかしゃ
参加者：

- ・NPO法人相模原市障害児者福祉団体連絡協議会
- ・NPO法人フュージョンコまかながわ・県肢体不自由児協会
- ・県立相模原支援学校PTA
- ・県立相模原支援学校
- ・県立相模原中央支援学校
- ・県立相模原公園指定管理者

【基本配置案】

ぜんかい ゆうくひろばぜんたい せいびほうしん ゆうくたいけんかい いけん さくせい
前回とりまとめた遊具広場全体の整備方針と、アンケートや遊具体験会でいただいたご意見をもとに作成した基本配置案を提示し、意見交換を行いました。

遊具広場全体の整備方針(第3回WG結果)

あん もり きてんぼうだいしゅうへん
B案 森の木展望台周辺もインクルーシブゾーンとする



【基本配置案の考え】

- ①見本庭園、森の木展望台周辺エリアを一体的に整備する。
- ②遊具は中央に配置、休憩施設は子どもたちを見守りやすいよう周囲に分散して配置する。
- ③北側のあそび場は「落ち着きのある遊び」と「活発な動きを伴う遊び」のゾーンに分け、遊具の難易度や形状の違いで遊具配置をする。
ただし、舗装の色は1色にして視覚的に一体的な広場に見せ、好きな遊具で自由に遊びやすい空間とする。
- ④南側のあそび場は既存の複合遊具を残し、森の木展望台の後継遊具を中心とした児童遊具広場とする。

○主な意見

▶出入口について、公共交通機関を利用し来園した場合、南東方向から来るため、南側にも出入口⑤⑥があるのは便利だと思う。
などのご意見をいただきました。

基本配置案「一体性を重視した広場」



しせつはいちあん ゆうぐ きゆうけいしせつ
【施設配置案(遊具・休憩施設・サイン)】

基本配置案をもとに作成した遊具や休憩施設、サインの配置案について意見交換を行いました。

おも いけん
○主な意見

ゆうぐ
【遊具について】

- ▶車いすに乗ったまま上下に揺れを楽しめる遊具がほしい。
- ▶寝たままの姿勢でも感触や視覚で楽しめる遊具がほしい。
- ▶じっくり遊びたい子やスピーディーに連続して遊べないタイプの子は、複合遊具よりも、単体遊具の方が遊びやすい。
- ▶円形に連結しているブランコは、順番待ちをしやすいと思う。
- ▶ブランコを複数設置する場合でも座面タイプは統一した方がよい。

きゆうけいしせつ
【休憩施設について】

- ▶屋根のない施設やパーゴラでは日除け、雨避けが難しいため、四阿など日除け、雨除けができる施設がよい。
- ▶地面に座るのは、障がいのある子や支援者の負担になるため、腰かけたり、寝転がることができる縁台や座面が広いベンチがあると良い。
- ▶軽い飲食程度なので、テーブルは必要ない。
- ▶車いすは、個々に合わせて座りやすく調整されているので、車いす利用者がベンチに座ることはない。

がいしゅうさく もんぴ
【外周柵・門扉について】

- ▶外周柵の存在を認識でき、乗り越えづらい高さ(1.2m程度)がほしい。
 - ▶圧迫感がなく、雰囲気柔らかい、あそび場感のある柵がよい。
 - ▶門扉を常に開ける場合、出入口近くに壁を置くなど飛び出し防止の対策があると安心感がある。また、出入口を認識しやすいように目印となるゲートは必要だと思う。
- などのご意見をいただきました。



車いすに乗ったまま遊べる遊具や視覚で楽しめる遊具の例



円形ブランコ



雨避けができる四阿

座面が広いベンチ



あそび場感のある柵のイメージ

もり きてんぼうだい こうけいゆうぐ
【森の木展望台の後継遊具】

現在、使用を禁止している森の木展望台の更新について意見を交換しました。

おも いけん
○主な意見

- ▶背の高い遊具より平面的で横に広がりのある遊具の方が補助もしやすい。
- ▶森の木展望台は、大木と同じ高さまで登れるところが魅力の一つだった。新しい遊具もある程度の高さのある遊具がよい。
- ▶車いすは頂上まで登れなくてもよいが、途中までは登れるとよい。
- ▶「登る」だけでなく、遊具の下から高い遊具を見上げて楽しむこともできる。

などのご意見をいただきました。



意見交換の様子

こんご よてい
◆今後の予定

これまでのワーキンググループでの検討結果を踏まえ、次回は具体的な遊具や公園施設をまとめた「ともいきひろばせいびほうしん 広場整備方針」を定めていきます。

もう少し詳しく知りたい方は、こちらをチェック



津久井治水センターHP